

平成 29 年度 学校教育自己診断アンケート 考察

【教職員Ⅰ】

- No.16 …人権教育の重点課題についての理解度が低い。
- No.6 …評価のあり方について、「あまり or まったくあてはまらない」が 28 人。
日常の業務の多忙さからと思われるが、評価について話し合う機会をもつ必要がある。
- No.15 …人権尊重の姿勢に基づいた生活(生徒)指導について、「あまり or まったくあてはまらない」が 15 人。0 をめざす生徒指導の在り方が求められる。

【教職員Ⅱ】

- No.32,33 …授業見学や授業方法について検討する機会について、「あまり or まったくあてはまらない」の数が多。
No.31 の項目も合わせ、授業を充実させるためにも、検討する時間の確保が必要である。
- No.23,34,20 …教員間のコミュニケーションや時間的な余裕を確保する必要性が高い。

【保護者】

- グラフ全体について、「あまり or あてはまらない」の割合に比べ、「よく or あてはまる」の割合がかなり大きくなっている。学校に対する保護者の方々の受け止め方は、全般的に見て、肯定的な受け止め方をしているようである。
- No.5,19,28,23 …「わからない」の回答数が多い。授業や生徒指導について、保護者に理解を深めていただけるよう、発信していく必要がある。

【生徒】

- No.5,7,2,11,19,3 …「よく or ややあてはまる」の割合が大きいことから、生徒は学校や教師のことを肯定的に捉えている。
- No.8 …生徒会の行事や委員会の仕事については、「あてはまらない」の割合が他と比べ、多い。
- 今年度、新たに No.21 の項目が加わった。いじめについて、教師は真剣に対応してくれると生徒に受けとめてもらえるよう、来年度もさらに取り組んでいく必要がある。